

○Web サイトにオプトアウトする書式

「 妊娠糖尿病患者における若年期・妊娠期・産後の体重変化量と産後耐糖能の関連性の検討 」

○研究の概要

妊娠糖尿病は、母体における出産後の糖尿病発症や、母体・児における周産期合併症発症のリスク因子であり、妊娠中の血糖コントロールを含めた母体管理は、これらの予防に重要とされております。日本人女性における一時点の肥満や一定期間の体重増加が糖尿病発症のリスク因子であるという研究報告は多数存在します。しかし、産後糖尿病の発症リスクが高い妊娠糖尿病患者における、若年期・妊娠期・産後の体重変化のうち産後耐糖能に最も影響を及ぼす因子について検討した研究報告は存在しません。そのため、本研究では、妊娠糖尿病患者における若年期・妊娠期・産後の体重変化量が産後耐糖能に及ぼす影響について検討します。

○研究の目的と方法

本研究の目的は、妊娠糖尿病患者さんの若年期・妊娠期・産後の体重変化量が産後耐糖能に及ぼす影響について検討することです。糖尿病・内分泌内科外来初診時及び産後受診時に診療で得られた臨床データ（臨床所見、検査値など）を集計し統計分析を行う後方視的研究です。

○本研究の参加について

本研究に参加することで、患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを使わないで欲しいと希望される場合や、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

本研究は、令和3年4月1日～令和7年3月31日の期間中、国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科外来を受診し産前血糖管理を行い、産後に75g経口ブドウ糖負荷試験を実施した妊娠糖尿病患者さん約500例を対象としています。診療で得られた臨床データを集計し統計分析を行う研究です。

○実施期間

研究対象期間：令和3年 4月 1日～令和 7年 3月 31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後 ～令和 9年 3月 31日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表する時に、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 / 国立大学法人熊本大学大学院 医学教育部 山下晶穂

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 / 国立大学法人熊本大学大学院 医学教育部 山下晶穂

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

電話：096-353-6501